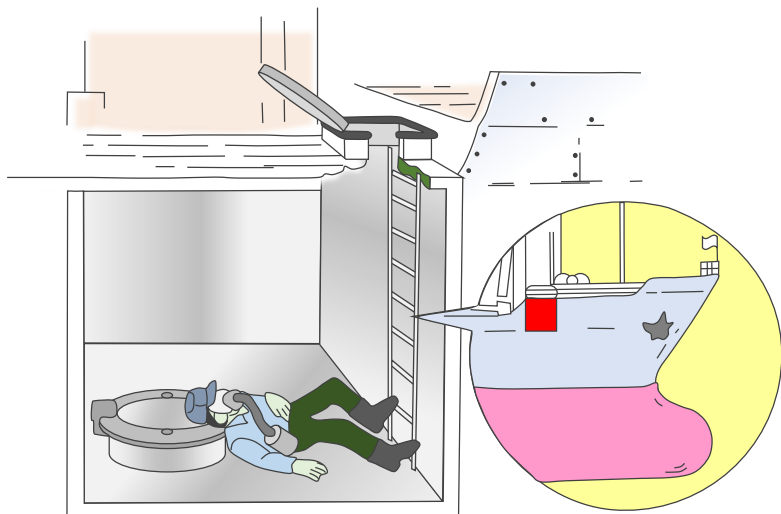


船倉での木材燻蒸終了後のハッチ等の開放作業中に 酸素欠乏症で死亡



【発生場所】

船内での木材燻蒸終了後の燻蒸ガス排出作業時

【被災原因】

前日に燻蒸が行われた船倉について防疫官立ち会いのもとにガス濃度測定を実施した結果、燻蒸の効果が確認されたので、各船倉のハッチ等の開放作業が開始されたが、被災者が戻ってこなかったため探してみたところ、甲板上でハッチが開いたままの昇降口があるのが発見され、そこから下をのぞくと被災者が防毒マスクを付けたまま仰向けに倒れていた。燻蒸ガスの測定はしたが、酸素濃度の測定はしていなかったため、酸欠状態になってしまった。

【被災状況】

酸素欠乏により死亡。

【対策】からの抜粋

[5] その他、作業場所の状況、使用する原材料などに応じ、酸素欠乏症、特定化学物質による中毒、爆発・火災等に対する対策も併せて講ずること。



～理研計器からのご提案～

貨物船では積み荷や作業の内容によって注意すべきガスが異なります。毒性の高い燻蒸ガスや酸欠に限らず、一酸化炭素や硫化水素による中毒、可燃性ガスへの備えも重要です。

安全確認のため、1台で複数のガスを検知可能なポータブルガスモニターのご使用をお勧めいたします。